

「室生古道(むろうごどう)を歩く」

《コース》「榛原駅」⇒奈良交通バス「高井」下車⇒仏隆寺⇒唐戸峠(昼食)⇒腰折れ地蔵⇒西光寺
⇒あさぎりホールで、室生寺バス停組と東海自然歩道組に別れる
東海自然歩道組6名は、芸術の森⇒大野寺へ

担当：北川さま、宮田さま、稲葉さま

参加者 26名



榛原駅前で点呼



榛原駅前でストレッチ



高井バス停に到着バス停すぐ先に、伊勢本街道、室生古道・仏隆寺1.9kmの道標



仏隆寺方面へ向う



矢谷川に架かる頭矢橋 田園風景の広がる景色 仏隆寺方面へ向う





仏隆寺方面へ向う道に丁石



仏隆寺方面へ向う(下記は道中の花)



ショウジョウバカマ



ヒカゲノカズラ



ウバユリの芽



ツチグリ



スイセン



仏隆寺方面へ向う道に丁石

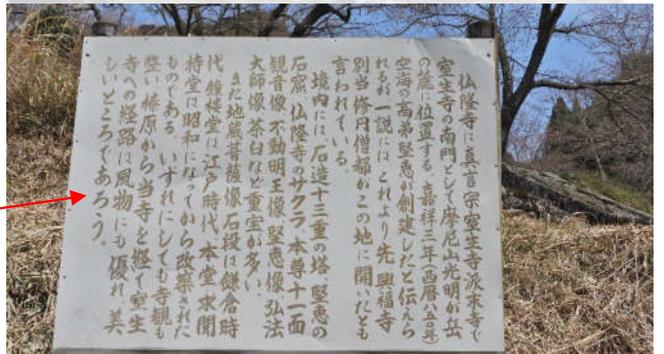


仏隆寺方面へ向う





藁葺きのこぢんまりとした辻堂が見える、 駐車場に碑



仏隆寺参道



藁葺きのこぢんまりとした辻堂があり、中には、鎌倉後期といわれるお地蔵さまが祀られています



石段は240段ほどあり、その両脇には桜の木、右手に奈良県指定天然記念物の千年桜(ヤマザクラとエゾヒガン雑種モチヅキザクラ) 樹齢約960年の巨樹ですが、台風で大きな被害を受けた。(幹周り約7.7m、高さ約16m)



(幹周り約7.7m、高さ約16m)



仏隆寺山門



北川サークル長より話



白モクレン



ミツバツツジ



水車小屋



仏隆寺横に白岩神社



山道に入り車両通行止め 唐戸峠方面へ向う



石が多く転がる道 唐戸峠方面へ向う



倒木



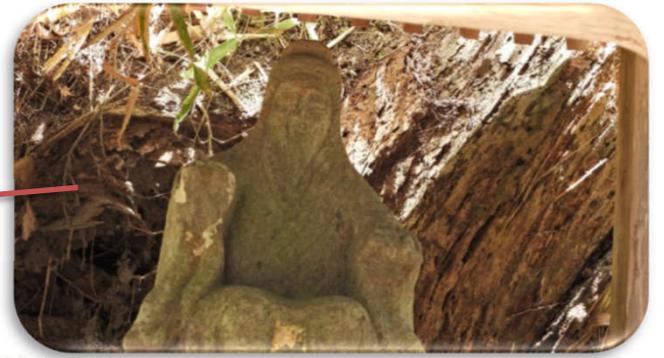
唐戸峠方面へ向う



ササが茂る道(唐戸峠に到着)



役行者像が祀られた祠



休憩所と役行者像が祀られた祠のある唐戸峠で昼食(休憩所には、「美しい心の人の休憩所」)



馬酔木の花



唐戸峠にて



唐戸峠にて



カトラ新池



西光寺方面に向う



牛頭大王



ミヤマカタバミ



トサミズキ(マンサク科)



石仏



衣掛の松(松は無かった)



この地蔵は何度も倒されたため、腰から下が2つに折れている それは地蔵仲間の中でも意地悪だったので倒されたとか、子育て地蔵と子どものとりあいをして腰を折られたなど の謂われがある。また、室生古道の道中にあるため、昔から腰から下の病気に霊験あらたか



西光寺近く



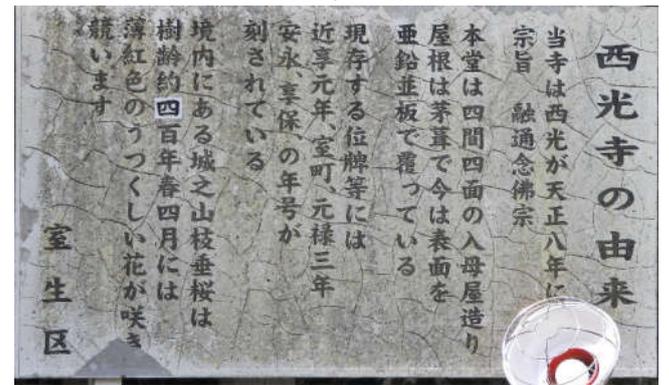
丁石



西光寺の桜



西光寺の桜



西光寺の由来

当寺は西光が天正八年に
宗旨 融通念佛宗
本堂は四間四面の入母屋造り
屋根は茅葺で今は表面を
亜鉛並板で覆っている
現存する位牌等には
近享元年、室町、元禄三年
安永、享保の年号が
刻されている
境内にある城之山枝垂桜は
樹齢約四百年春四月には
薄紅色のうつくしい花が咲き
競います
室生区



西光寺の桜



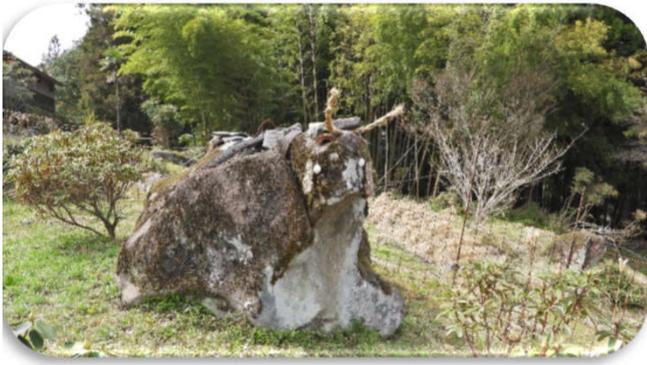
ミツマタの花



あさぎりホール方面へ向う



レンギョウ ???



大きな石の牛



あさぎりホール(室生地域文化伝習展示施設)



室生公園あさぎりの里



室生公園あさぎりの里



地藏院



地藏院



あさぎりの里から室生寺



あさぎりの里から室生寺



あさぎりの里公園



公園にある雀地藏



室生寺組と東海自然歩道組別れる



以下東海自然歩道組



室生山上公園芸術の森方面へ向う



室生山上公園芸術の森方面へ向う



室生山上公園芸術の森



室生山上公園芸術の森



室生山上公園芸術の森横に東海自然歩道入口



大野寺方面へ向う



大野寺方面へ向う





大野寺方面へ向う



大野寺方面へ向う



東海自然歩道出合 大野寺方面へ向う



白鷺



柱状節理のような景観



宇陀川に架かる橋を渡る



宇陀川に架かる橋を渡る



道中の風景



大野寺前、川を挟んで弥勒大石仏(磨崖仏)



大野寺山門



大野寺境内



室生口大野駅無事到着し解散

今回担当戴きました北川さま、宮田さま、稲葉さま有難う御座いました。